

私立 千葉商科大学附属高等学校 シラバス

地理歴史科「日本史探究（2年普通科特進選抜文コース）」	単位数	5単位	学科	普通科
	学年	2	組	H

1 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	<p>①歴史的イベントがなぜ発生したのか、それによってどんな影響があったのかなどと考えることによって、物事を経過を追いながらとらえ、論理的に思考できるようにします。</p> <p>②「未来への手がかり」が「過去に学ぶ」ことによって得られることを理解します。</p> <p>③どのようにして歴史を勉強していけばよいのか（「歴史の学習法」）を身につけます。</p> <p>④歴史に関する知識を増やすとともに、これらが各自の進路目標決定の一助となるようにします。</p> <p>⑤我が国の伝統文化に対する関心を高めます。</p> <p>⑥今日我が国が抱える問題がどのような歴史的事象に起因しているのかを理解させ、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養います。</p> <p>⑦大学入試の準備を開始し、学んだ範囲の内では入試問題もこなせるようにします。</p> <p>⑧社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、公民としての資質・能力を育成することを目指します。</p>
-------	---

育成する資質能力	「思考力」「判断力」
学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」 「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	・定期考査	・定期考査 ・ワーク ・振り返りシート	・ワーク ・振り返りシート ・授業中の行動観察
配分	70%	20%	10%

2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項、他教科との関連など）
----	------	--------	--------------------

第1章 日本文化のあけぼの

- 1 文化の始まり
- 2 農耕社会の成立

第2章 古墳とヤマト政権

- 1 古墳文化の展開
- 2 飛鳥の朝廷

第3章 律令国家の形成

- 1 律令国家への道
- 2 平城京の時代
- 3 律令国家の文化
- 4 律令国家の変容

第4章 貴族政治の展開

- 1 摂関政治
- 2 国風文化
- 3 地方政治の展開と武士

- ・人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解します。
- ・打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づきます。
- ・大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察します。
- ・集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連づけて考察します。
- ・地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえます。
- ・ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察します。
- ・ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目し、飛鳥時代を考察します。
- ・飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられることを理解します。
- ・律令国家が成立するまでの政治過程について考察します。
- ・律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察します。
- ・平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察します。
- ・白鳳文化、天平文化における政治性と国際性、仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解します。
- ・平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察します。
- ・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察します。
- ・大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風

①中間考査

②期末考査

		<p>文化が展開されたことを理解します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察します。 ・地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察します。 	
<p>第 2 学 期</p>	<p>第5章 院政と武士の躍進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権 <p>第6章 武家政権の成立</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化 <p>第7章 武家社会の成長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場 <p>第8章 近世の幕開け</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 織豊政権 2 桃山文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解します。 ・政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察します。 ・古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現します。 ・鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理します。 ・鎌倉幕府の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察します。 ・承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解します。 ・モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解します。 ・庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解します。 ・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察します。 ・庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察します。 ・諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解します。 	<p>③中間考査</p> <p>④期末考査</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化および、大陸文化と伝統文化の関わりについて理解します。 ・応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察します。 ・大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察します。 ・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解します。 ・新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察します。 	
<p style="text-align: center;">第 3 学 期</p>	<p>第9章 幕藩体制の成立と展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化 <p>第10章 幕藩体制の動揺</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 	<ul style="list-style-type: none"> ・中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現します。 ・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解します。 ・江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察します。 ・幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察します。 ・諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解します。 ・幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察します。 ・経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解します。 	<p>⑤学年末考査</p>